

令和3年度
第2期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗状況報告書（令和2年度分）

大津市
令和3年8月

目 次

1	はじめに	P1
2	進捗状況の概要	P2
3	基本目標ごとの進捗状況	P4
	基本目標 1 子育て世代が満足するまちづくり	P4
	基本目標 2 仕事と暮らしが充実したまちづくり	P5
	基本目標 3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり	P6
	基本目標 4 持続可能なまちづくり	P7
4	基本目標の数値目標の結果	P8
5	施策の重要業績評価指標（KPI）の一覧	P9
6	令和2年度の施策・事業	P10
7	施策の進捗状況	P11
8	令和2年度施策・事業実績一覧	P13
9	交付金事業の実績	P18

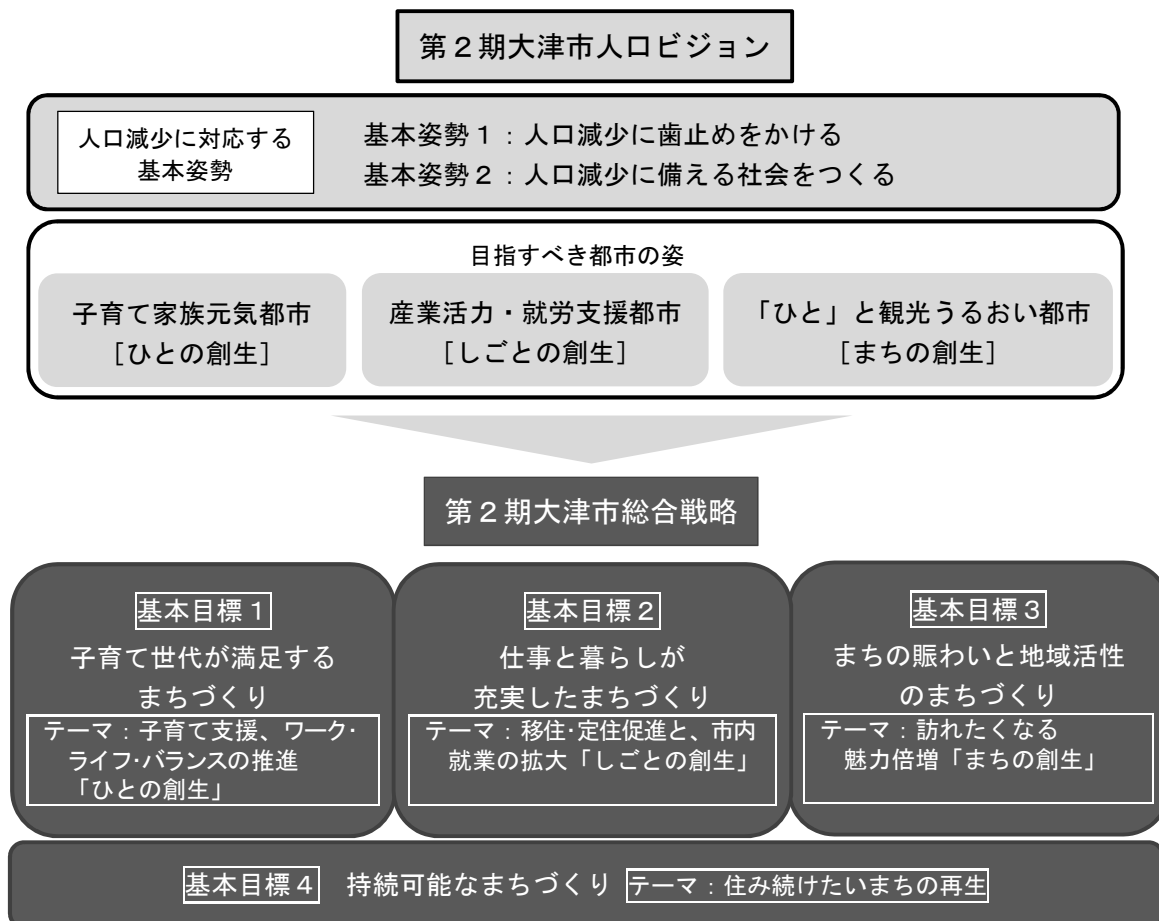
1 はじめに

令和2（2020）年4月に策定した「第2期大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」という。）」は、第2期大津市人口ビジョンで示した将来のまちの姿と人口目標の達成に向け、第1期大津市総合戦略の検証を踏まえ、令和6（2024）年度までの5年間で達成すべき目標を定め、その実現に向けた方向性と具体的な施策を示すものです。

第2期大津市人口ビジョンでは、本市が人口減少局面を迎えた現状を分析し、子どもを産み育てやすいまちづくり、住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりを進めることで、人口減少に歯止めをかけるとともに人口減少に備える社会をつくる方向性を打ち出しました。そして、平成27（2015）年に342,031人だった人口の将来を、令和7（2025）年に340,071人、令和42（2060）年に283,743人と展望しました。

第2期総合戦略では、この将来展望人口を実現するため、4つの基本目標「子育て世代が満足するまちづくり」、「仕事と暮らしが充実したまちづくり」、「まちの賑わいと地域活性のまちづくり」、「持続可能なまちづくり」を設定し、基本目標ごとに具体的な施策を示しました。施策の推進に当たっては、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設けて5年間で達成すべき数値目標を掲げ、毎年効果を検証しながら、必要な見直し・改善を図っていきます。この検証は、「大津市まち・ひと・しごと創生本部」及び「大津市まち・ひと・しごと創生懇話会」において行います。

第2期総合戦略の初年度にあたる令和2年度は、総合戦略全体事業計画に掲げる144事業の取組を進めました。本報告書は、その施策・事業の進捗状況を点検・検証するため、令和2年度の施策・事業の取組成果についてとりまとめたものです。



2 進捗状況の概要

令和2年度の進捗状況の評価にあたって

令和2年度の進捗状況に関しては、新型コロナウイルス感染症の対応等により社会経済環境全体が大きな影響を受けている中での取組であることから、その事業の執行状況の評価にあたっては、例年の方法に一部修正を加えた次に記載する評価の方法により行います。

評価の方法

第2期総合戦略の評価については、第2期総合戦略に位置づけた事業の執行状況の評価、基本目標の進捗評価及び施策の重要業績評価指標（KPI）の達成状況の検証をもって、第2期総合戦略の評価を行います。

《事業の執行状況の評価》

事業の執行状況については、次表の区分により、評価を行います。

執行状況	区 分		内 容
事業計画達成	計画のとおり	A	令和2年度事業が計画のとおり達成されたもの
事業計画 ほぼ達成	概ね計画のとおり	B	令和2年度事業が概ね（7割から8割程度）計画のとおり達成されたもの
事業計画 一部達成	一部計画のとおり	C	令和2年度事業の一部が、計画の変更や執行の遅れなどにより、計画のとおり達成されなかったもの
事業実績なし	未達成（未執行）	D	令和2年度事業実績がないもの又は事業実施に至らなかったもの
区分対象外		—	新型コロナウイルス感染防止対策等による主たるイベントの中止等、著しく直接的に外因の影響を受けて計画どおりの実施ができなかったもの

《基本目標の進捗評価》

基本目標の進捗評価については、各基本目標に関わる事業に関し、各事業の執行状況の区分に基づき、「計画のとおり」を10点、「概ね計画のとおり」を7点、「一部計画のとおり」を5点、「未達成（未執行）」を0点として、当該事業の評価点とし、各基本目標に関わる事業の評価点の平均値をもって、それぞれの基本目標の進捗評価とする。

総 括

第2期総合戦略において令和2年度の事業として位置づけたものは、144事業（新規20事業、既存124事業、重複18事業）でありました。

これらの事業の執行状況の評価に関して、まず、各事業の執行状況の区分（以下「区分」という。）に際しては、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策等による主たるイベントの中止等、著しく直接的に外因の影響を受けて計画どおりの実施ができなかったものなどがあることから、これに該当する16事業については区分を行うことが適当ではないものとして「区分対象外」としました。

その上で、区分対象外の事業を除く128事業の区分としては、計画のとおりが96事業、概ね計画のとおりが27事業であり、この2つを合わせると約85%でありました。なお、一部計画のとおりが5事業、未達成（未執行）はありませんでした。

各基本目標の進捗評価に関しては、基本目標1「子育て世代が満足するまちづくり」が10点満点中9.4点、基本目標2「仕事と暮らしが充実したまちづくり」が9.0点、基本目標3「まちの賑わいと地域活性のまちづくり」が9.5点、基本目標4「持続可能なまちづくり」が9.1点となりました。

各施策の重要業績評価指標（KPI）に関しては、数値が計測できる10の指標のうち3つの指標においてすでに目標値を達成しています。

以上のことから、新型コロナウイルス感染症の影響で区分対象外とした事業があったものの、地方創生を目指した総合的な取組の推進としては、一定の進捗があったものと認識しています。

なお、国の交付金に関しては、令和2年度は2事業に対して15,504千円であり、この特定財源を有効に活用しました。令和2年度に活用した事業は、基本目標3に関わるもので、「琵琶湖疏水通船復活を契機とした京都・大津広域観光促進事業」と「「戦国・琵琶湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト」の観光推進に関する2事業でありました。

3 基本目標ごとの進捗状況

基本目標1 子育て世代が満足するまちづくり

◎事業の実施状況について

4施策で新規5事業を含む54事業を実施し、事業計画どおりに実施できた事業(評価A)が42事業、概ね計画どおりに実施できた事業(評価B)が7事業、一部計画のとおり実施できた事業(評価C)が2事業、未達成の事業(評価D)はなく、区分対象外の事業が3事業でした。基本目標内の各事業実績の進捗評価(A=10、B=7、C=5、D=0)の平均値は10点満点中9.4でした。

(主要な事業)

- ・妊婦健診費用助成事業
- ・多様な保育サービスの実施
- ・学力向上推進事業
- ・子育て地域活動支援事業
- ・コミュニティ・スクール事業

◎施策の重要業績評価指標(KPI)について

- ・施策1の指標「合計特殊出生率」は目標値1.52に対し1.39であり、目標値に対して0.13ポイント下回りました。
- ・施策2の指標「人口目標を達成するための実出生数(毎年)」は目標値2,666人に対して2,322人下回りました。
- ・施策3の指標「くるみん認定企業数」は目標値37社に対し14社(平成27年度からの累計値、令和2年度実績は2社)であり、目標に対する進捗度は38%でした。
- ・施策4の指標「コミュニティ・スクール実施率」は目標値76%に対し80.0%であり、目標を達成できました。

施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	令和元年度	令和2年度	目標値との比較
1	合計特殊出生率	1.44	1.52	1.44	1.39	△0.13
2	人口目標を達成するための実出生数(毎年)	2,635人	2,666人	2,495人	2,434人	△232人
3	くるみん認定企業数	7社	37社	12社	14社	△23社
4	コミュニティ・スクール実施率	0%	76%	67.3%	80.0%	+4%

基本目標 2 仕事と暮らしが充実したまちづくり

◎事業の実施状況について

3施策で新規1事業を含む23事業を実施し、計画どおりに実施できた事業が14事業、概ね計画どおりに実施できた事業が3事業、一部計画のとおり実施できた事業が2事業、未達成の事業はなく、区分対象外の事業が4事業でした。基本目標内の各事業実績の進捗評価の平均値は、10点満点中9.0でした。

(主要な事業)

- ・定住促進と消費需要の喚起
- ・中小企業振興計画における施策と事業の推進
- ・女性起業家の経営スクール事業
- ・企業立地活性化事業

◎施策の重要業績評価指標 (KPI) について

- ・施策1の指標「30～39歳の市外からの転入者数(純移動数 毎年)」は目標値+162人に対して+397人であり、目標を達成できました。
- ・施策2の指標「市内事業所の付加価値額」は、毎年のデータはありません。
- ・施策3の指標「就職面接会採用者数」は目標値20人に対して13人下回りました。

施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和元年度	令和2年度	目標値との比較
1	30～39歳の市外からの転入者数(純移動数 毎年)	+162人	+162人	+588人	+397人	+235人
2	市内事業所の付加価値額	457,089 百万円	503,000 百万円	—	—	—
3	就職面接会採用者数	17人	20人	—	7人	△13人

基本目標3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり

◎事業の実施状況について

3施策で新規2事業を含む21事業を実施し、計画どおりに実施できた事業が10事業、概ね計画どおりに実施できた事業が2事業、一部計画のとおり実施できた事業が0、未達成の事業はなく、区分対象外の事業が9事業でした。基本目標内の各事業実績の進捗評価の平均値は、10点満点中9.5でした。

(主要な事業)

- ・新名神高速道路のSIC及びSA利活用による地域活性化推進事業
- ・歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業
- ・歴史的観光資源活用補助事業

◎施策の重要業績評価指標 (KPI) について

- ・施策1の指標「観光消費額」は目標値1,708億円に対して658億円下回りました。
- ・施策2の指標「延べ宿泊者数(外国人のみ)」は目標値35万人に対して32.7万人下回りました。
- ・施策3の指標「来訪者満足度」は目標値40%に対し48.26%であり、目標を達成できました。

施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和元年度	令和2年度	目標値との比較
1	観光消費額	137,900 百万円	170,800 百万円	184,534 百万円	105,000 百万円	△65,800 百万円
2	延べ宿泊者数 (外国人のみ)	180,000人	350,000人	197,453人	23,000人	△327,000 人
3	来訪者満足度	32.30%	40%	—	48.26%	+8.26%

基本目標4 持続可能なまちづくり

◎事業の実施状況について

2施策で新規14事業を含む66事業を実施し、計画どおりに実施できた事業が45事業、概ね計画どおりに実施できた事業が17事業、一部計画のとおり実施できた事業が1事業、未達成の事業はなく、区分対象外の事業は3事業でした。基本目標内の各事業実績の進捗評価の平均値は、10点満点中9.1でした。

(主要な事業)

- ・公共施設マネジメント推進事業
- ・環境保全活動の推進
- ・交通安全推進事業
- ・地域包括支援センター活動推進事業
- ・まちづくり協議会の設立・運営支援事業

◎施策の重要業績評価指標（KPI）について

- ・施策1の指標「公共施設（建物）の延床面積削減割合」は、毎年のデータはありません。
- ・施策2の指標「D I D地区の人口密度」は目標値7,050人/k㎡に対し、6,960人/k㎡であり、目標に対する進捗度は99%でした。

施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	令和元年度	令和2年度	目標値との比較
1	公共施設（建物）の延床面積削減割合	—	△2.4%	—	—	—
2	D I D地区の人口密度	6,940人/k㎡	7,050人/k㎡	6,990人/k㎡	6,960人/k㎡	△90人/k㎡

4 基本目標の数値目標の結果

基本目標 1 子育て世代が満足するまちづくり					
合計特殊出生率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1.44 (平成30年) ⇒1.52 (令和5年)	1.39	—	—	—	—
基本目標 2 仕事と暮らしが充実したまちづくり					
付加価値額の増加	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
457,089 百万円 (平成29年) ⇒503,000 百万円 (令和7年)	—	—	—	—	—
基本目標 3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり					
観光入込客数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,242 万人 (平成27年) ⇒1,412 万人 (令和2年)	756 万人	—	—	—	—
基本目標 4 持続可能なまちづくり					
D I D地区の人口密度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6,940 人/km ² (平成30年度) ⇒7,050 人/ km ² (令和6年度)	6,960 人/km ² (推計値)	—	—	—	—

5 施策の重要業績評価指標（KPI）の一覧

基本目標 1 子育て世代が満足するまちづくり								
施策1 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」 施策2 子どもを大切にすする更なる子育て施策の推進 施策3 “働き方を変える”ワーク・ライフ・バランスの推進 施策4 地域等による支えあい								
施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	合計特殊出生率 ※2	1.44	1.52	1.39				
2	人口目標を達成するための実出生数（毎年）	2,635人	2,666人	2,434人				
3	くるみん認定企業数	7社	37社	14社				
4	コミュニティ・スクール実施率	0%	76%	80.0%				
基本目標 2 仕事と暮らしが充実したまちづくり								
施策1 働く家族の満足を請け負う取組 施策2 地域特性を生かした新産業創出と地域イノベーションの推進 施策3 就業の拡大								
施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	30～39歳の市外からの転入者数（純移動数 毎年）	+162人	+162人	+397人				
2	市内事業所の付加価値額 ※1※2	457,089百万円	503,000百万円	—				
3	就職面接会採用者数	17人	20人	7人				
基本目標 3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり								
施策1 観光産業の振興 施策2 外国人観光施策 施策3 おもてなしのあったか市民								
施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	観光消費額 ※1	137,900百万円	170,800百万円	105,000百万円				
2	延べ宿泊者数（外国人のみ）※1	180,000人	350,000人	23,000人				
3	来訪者満足度	32.30%	40%	48.26%				
基本目標 4 持続可能なまちづくり								
施策1 公共施設・インフラの適正維持 施策2 住み続けたいまちの再生								
施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	公共施設（建物）の延床面積削減割合※3	—	△2.4%	—				
2	D I D地区の人口密度	6,940人/k㎡	7,050人/k㎡	6,960人/k㎡				

(注) KPI 項目名の末尾に※1 を付したデータは暦年、※2 は1年前の実績、※3 は市民病院床面積削減含む

6 令和2年度の施策・事業

令和2年度の事業は、計144事業（新規20、既存124、重複18）を計画し、総事業費（決算額）は18,475,908千円でした。内訳は、以下のとおりです。

基本目標と施策	新規事業	既存事業	重複事業	事業数	事業費 (決算額)
基本目標1 子育て世代が満足するまちづくり	5	46		51	14,169,009 千円
施策1 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」	1	7	1	8	1,425,223 千円
施策2 子どもを大切にす更なる子育て施策の推進	3	27	3	30	12,792,232 千円
施策3 “働き方を変える”ワーク・ライフ・バランスの推進	0	7	0	7	2,183 千円
施策4 地域等による支えあい	1	8	4	9	166,082 千円
基本目標2 仕事と暮らしが充実したまちづくり	1	20		21	363,343 千円
施策1 働く家族の満足を請け負う取組	0	6	4	6	128,897 千円
施策2 地域特性を生かした新産業創出と地域イノベーションの推進	1	10	4	11	215,268 千円
施策3 就業の拡大	0	6	2	6	222,832 千円
基本目標3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり	2	17		19	145,600 千円
施策1 観光産業の振興	2	6	4	8	38,069 千円
施策2 外国人観光施策	1	9	2	10	109,397 千円
施策3 おもてなしのあったか市民	0	3	2	3	6,798 千円
基本目標4 持続可能なまちづくり	14	51		65	3,950,899 千円
施策1 公共施設・インフラの適正維持	1	10	1	11	2,235,164 千円
施策2 住み続けたいまちの再生	13	42	11	55	1,718,273 千円

《重複18事業の内訳》

事業名	基本目標											
	1				2			3			4	
	施策											
	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2
妊婦健診費用助成事業												
少子化対策に向けた取組												
大津っ子みんなで育て“愛”全戸訪問事業												
防犯推進事業												
交通安全推進事業												
起業・創業促進新規出店支援事業												
企業立地活性化事業												
ふるさと納税推進事業												
移住希望者に対する支援												
空き町家の利活用推進支援事業												
新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業 ※課が異なる同名2事業あり												
障害者働き・暮らし応援センター運営支援事業												
MICE推進事業												
歴史的観光資源活用補助事業												
国際大会を契機としたスポーツ推進												
まちづくり協議会の設立・運営支援事業												
公共施設マネジメント推進事業												

7 施策の進捗状況

(1) 施策ごとの進捗状況

令和2年度事業計画に掲げる事業は144事業で、内訳は新規事業20、既存事業124となっており、うち18事業は複数の施策にまたがる重複事業です。

各施策の進捗状況は、次頁の表のとおりです。144事業のうち123事業がAまたはB評価(85.4%)、C評価が5事業(3.5%)、D評価がなく、区分対象外の事業が16事業(11.1%)でした。

(2) 各施策の進捗状況の点数化

施策ごとの進捗状況を点数化しました。

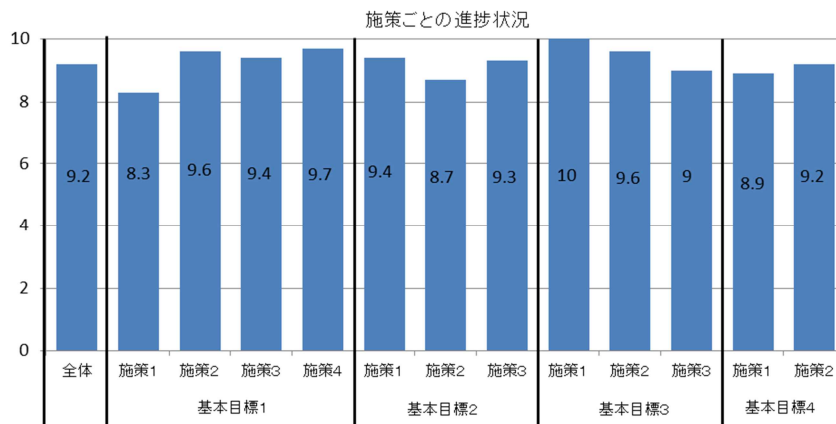
点数化は、事業の執行状況についてA=10点、B=7点、C=5点、D=0点として、施策ごとに合計点を出し、事業数で除して各施策10点満点で評価しました。

(3) 各施策の進捗状況

施策ごとの進捗状況を上記の方法により点数化した結果は、次頁のグラフのとおりであります。

施策ごとの進捗状況

基本目標	施策	区分					計	業績
		A	B	C	D	—		
1	1 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」	4	3	1	0	0	8	8.3
	2 子どもを大切にすする更なる子育て施策の推進	26	2	1	0	1	30	9.6
	3 “働き方を変える”ワーク・ライフ・バランスの推進	4	1	0	0	2	7	9.4
	4 地域等による支えあい	8	1	0	0	0	9	9.7
	単純合計	42	7	2	0	3	54	
	重複（基本目標内：施策1と2、2と4〔2事業〕） 重複（基本目標間：基本目標4〔2事業〕）	3	0	0	0	0	3	
2	1 働く家族の満足を請け負う取組	4	1	0	0	1	6	9.4
	2 地域特性を生かした新産業創出と地域イノベーションの推進	7	1	2	0	1	11	8.7
	3 就業の拡大	3	1	0	0	2	6	9.3
	単純合計	14	3	2	0	4	23	
	重複（基本目標内：施策1と2、2と3）	1	0	0	0	1	2	
	重複（基本目標間：基本目標3・4〔2事業〕、基本目標4〔4事業〕）	6	0	0	0	0	6	
3	1 観光産業の振興	2	0	0	0	6	8	10.0
	2 外国人観光施策	6	1	0	0	3	10	9.6
	3 おもてなしのあったか市民	2	1	0	0	0	3	9.0
	単純合計	10	2	0	0	9	21	
	重複（基本目標内：施策1と2、2と3）	0	1	0	0	1	2	
	重複（基本目標間：基本目標2・4〔2事業〕、基本目標4〔2事業〕）	3	0	0	0	1	4	
4	1 公共施設・インフラの適正維持	7	4	0	0	0	11	8.9
	2 住み続けたいまちの再生	38	13	1	0	3	55	9.2
	単純合計	45	17	1	0	3	66	
	重複（基本目標内：施策1と2）	0	1	0	0	0	1	
	重複（基本目標間：基本目標1〔2事業〕、基本目標2〔4事業〕、 基本目標2・3〔2事業〕、基本目標3〔2事業〕）	9	0	0	0	1	10	
	単純合計（X） 重複事業（基本目標内、Y） 重複事業（基本目標間、Z） 重複事業調整後（X-Y-Z/2） ※Zのうち2事業分は3目標重複のためZ/3	111	29	5	0	19	164	
	4	2	0	0	2	8		
	20	0	0	0	2	22		
	96	27	5	0	16	144	9.2	



8 令和2年度施策・事業実績一覧

令和2年度の事業については、下記のとおり、計144事業（新規20、既存124、重複18）を実施し、総事業費（決算額）は18,475,908千円でした。

※ ☆印は新規事業、・印は既存事業、下線は重複事業に付した。

※ 啓発活動や調査・調査研究事業等については、決算額が0円であっても事業を実施している場合は、評価を行っている。

基本目標1 子育て世代が満足するまちづくり

テーマ:子育て支援、ワーク・ライフ・バランスの推進「ひとの創生」

☆新規事業5、・既存事業46、計51事業、事業費14,169,009千円 *基本目標内での重複除く

施策1: ☆新規1(うち重複0)、・既存7(うち重複1)、計8事業、事業費1,425,223千円

施策2: ☆新規3(うち重複0)、・既存27(うち重複3)、計30事業、事業費12,792,232千円

施策3: ☆新規0(うち重複0)、・既存7(うち重複0)、計7事業、事業費2,183千円

施策4: ☆新規1(うち重複1)、・既存8(うち重複3)、計9事業、事業費166,082千円

事業名	担当課	決算額 (千円)	区分
施策1 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」			
☆ウェディング応援事業	企画調整課	1,708	C
・母性保健事業	健康推進課	0	B
・予防接種事業	保健予防課	1,089,809	A
・妊婦健診費用助成事業	健康推進課	210,693	A
・不妊治療事業	健康推進課	84,900	A
・妊娠・出産包括支援事業:産前産後サポート事業・産後ケア事業	健康推進課	1,903	B
・新生児訪問事業	健康推進課	11,175	A
・乳幼児健診	健康推進課	25,035	B
施策2 子どもを大切にする更なる子育て施策の推進			
・次世代育成支援行動計画の推進	子ども家庭課	198	C
・少子化対策に向けた取組	子育て総合支援センター	1,862	A
・学習支援事業(中3学習会)	生活福祉課	2,404	A
・保育人材確保推進事業	幼保支援課	7,725	A
・児童手当支給事業	子ども家庭課	5,403,620	A
・幼稚園子育て支援事業	幼保支援課	80,515	A
・保育施設整備事業	保育幼稚園課	856,913	A
・児童扶養手当支給事業	子ども家庭課	1,139,391	A
・乳幼児医療費助成事業	保険年金課	508,896	A
・援護金支給事業	子ども家庭課	492	A
・子ども医療費助成事業	保険年金課	389,652	A
・母子家庭等自立支援事業	子ども家庭課	28,490	A
・母子家庭等就業・自立支援センター運営事業	子ども家庭課	1,745	A
・多様な保育サービスの実施	保育幼稚園課	173,055	A
・民間保育施設運営助成事業	保育幼稚園課	1,562,557	A
・大津っ子みんなで育て“愛”全戸訪問事業	子育て総合支援センター	4,156	A
・妊婦健診費用助成事業	健康推進課	210,693	A
・学力向上推進事業	学校教育課	46,134	A
・教育相談事業	教育相談センター	102	B
☆ICT教育推進事業	教育センター	405	B
・国際理解推進充実事業	学校教育課	158,741	A
・保育所・幼稚園等巡回相談事業	幼保支援課	50,938	A
・インクルーシブ教育の推進	学校教育課、特別教育支援室	130,540	A
・特別支援教育相談事業	特別支援教育室	1,331	A
☆学校ICT環境整備事業	学校ICT支援室	633,372	A
☆市立幼稚園・保育園のあり方の検討	幼保支援課	160	A
・いじめに係る相談体制充実事業	いじめ対策推進室	15,711	A
・いじめ対策事業	児童生徒支援課	289,771	A
・いじめ防止啓発事業	いじめ対策推進室	110	-
・児童クラブの充実事業	児童クラブ課	1,092,553	A

施策3 “働き方を変える”ワーク・ライフ・バランスの推進			
・女性活躍応援ポータルサイトの運営	人権・男女共同参画課	528	B
・働き方改革研修	人事課	0	—
・働き方改革に向けた長時間勤務削減	人事課	926	A
・育休制度、育児短時間勤務制度等の取得促進	人事課	0	—
・従業員の育児休業等取得熱心企業表彰事業	商工労働政策課	729	A
・“ハッピー”育Men”	人事課	0	A
・フレキシブルな働き方の調査・研究	人事課	0	A
施策4 地域等による支えあい			
・防犯推進事業	自治協働課	11,875	A
・子育て地域活動支援事業	子育て総合支援センター	33,330	B
・通学路管理事業	児童生徒支援課	485	A
☆交通安全推進事業	自治協働課	6,189	A
・児童館運営事業	子ども家庭課	91,095	A
・ファミリーサポートセンター事業	子ども家庭課	14,055	A
・少子化対策に向けた取組	子育て総合支援センター	1,862	A
・大津っ子みんな育て“愛”全戸訪問事業	子育て総合支援センター	4,156	A
・コミュニティ・スクール事業	学校教育課	3,035	A

基本目標2 仕事と暮らしが充実したまちづくり		テーマ：移住・定住促進と、市内就業の拡大「しごとの創生」	
☆新規事業 1、・既存事業 20、計 21 事業、事業費 363,343 千円 * 基本目標内での重複除く			
施策 1: ☆新規 0(うち重複 0)、・既存 6(うち重複 4)、計 6 事業、事業費 128,897 千円			
施策 2: ☆新規 1(うち重複 0)、・既存 10(うち重複 4)、計 11 事業、事業費 215,268 千円			
施策 3: ☆新規 0(うち重複 0)、・既存 6(うち重複 2)、計 6 事業、事業費 222,832 千円			
事業名	担当課	決算額 (千円)	区分
施策1 働く家族の満足を請け負う取組			
・ふるさと納税推進事業	企画調整課	120,000	A
・移住希望者に対する支援	企画調整課	30	A
・定住促進と消費需要の喚起	空家対策推進室	799	A
・空き町家の利活用推進支援事業	都市魅力づくり推進課	8,068	A
・空き家対策の推進	空家対策推進室	0	B
・起業・創業促進新規出店支援事業	商工労働政策課	0	—
施策2 地域特性を生かした新産業創出と地域イノベーションの推進			
・中小企業振興計画における施策と事業の推進	商工労働政策課	247	B
☆地域産業振興の施策体系の見直しと条例等の策定の検討	商工労働政策課	1,000	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	企画調整課	0	A
・企業立地活性化事業	商工労働政策課	203,654	A
・地域ビジネス支援室運営事業	商工労働政策課	6,226	A
・女性起業家の経営スクール事業	商工労働政策課	1,000	A
・起業・創業促進新規出店支援事業	商工労働政策課	0	—
・華麗なる大津野菜生産拡大推進事業	農林水産課	3,141	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	広域事業課	0	A
・新規就農者発掘事業	農林水産課	0	C
・6次産業化推進事業	農林水産課	0	C
施策3 就業の拡大			
・おおつ学生・若者就職フェア事業	商工労働政策課	0	—
・おおつ就職面接会事業	商工労働政策課	540	A
・企業立地活性化事業	商工労働政策課	203,654	A
・職員キャリア研修事業	人事課	0	—
・障害者働き・暮らし応援センター運営支援事業	障害福祉課	2,763	A
・高齢者労働能力活用事業	長寿政策課	15,875	B

基本目標3 まちの賑わいと地域活性のまちづくり

テーマ:訪れたい魅力倍増「まちの創生」

☆新規事業 2、・既存事業 17、計 19 事業、事業費 145,600 千円 * 基本目標内での重複除く

施策 1: ☆新規 2(うち重複 2)、・既存 6(うち重複 2)、計 8 事業、事業費 38,069 千円

施策 2: ☆新規 1(うち重複 1)、・既存 9(うち重複 1)、計 10 事業、事業費 109,397 千円

施策 3: ☆新規 0(うち重複 0)、・既存 3(うち重複 2)、計 3 事業、事業費 6,798 千円

事業名	担当課	決算額 (千円)	区分
施策1 観光産業の振興			
・大津三大祭事業運営補助事業	観光振興課	1,863	-
・びわ湖大花火大会事業負担金	観光振興課	5,698	-
・NHK 大河ドラマ等の放映を契機とした観光振興事業	観光振興課	18,405	-
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	広域事業課	0	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	企画調整課	0	A
・琵琶湖疏水通船事業	観光振興課	5,000	-
☆国際大会を契機としたスポーツ推進	スポーツ課	787	-
☆MICE推進事業	MICE推進室	6,316	-
施策2 外国人観光施策			
・インバウンド国際観光推進事業	MICE推進室	3,564	-
・歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業	都市計画課	353	A
・国際親善推進事業	MICE推進室	3,425	-
・SNS 等の WEB 媒体を利用した情報発信事業	MICE推進室	2,855	A
・歴史的観光資源活用補助事業※1	観光振興課	2,348	B
☆MICE推進事業	MICE推進室	6,316	-
・文化観光振興等助成事業	観光振興課	4,702	A
・文化財保存修理等補助事業	文化財保護課	35,716	A
・伝統的建造物群保存対策推進事業	文化財保護課	2,207	A
・市内史跡等整備事業	文化財保護課	47,911	A
施策3 おもてなしのあったか市民			
・まちづくり協議会の設立・運営支援事業	協働のまちづくり推進室	3,231	A
・多文化共生推進事業※2	MICE推進室	1,219	A
・歴史的観光資源活用補助事業	観光振興課	2,348	B

※1 歴史的観光資源活用補助事業は新型コロナウイルス感染症の影響下においても、継続的に各観光協会の取組を支援するもので評価対象とします。

※2 多文化共生推進事業については、外国籍市民を対象に実施している事業で、新型コロナウイルス感染症による出入国制限などの影響は受けていません。

基本目標4 持続可能なまちづくり

テーマ:住み続けたいまちの再生

☆新規事業 14、・既存事業 51、計 65 事業、事業費 3,950,899 千円 * 基本目標内での重複除く

施策 1: ☆新規 1(うち重複 0)、・既存 10(うち重複 1)、計 11 事業、事業費 2,235,164 千円

施策 2: ☆新規 13(うち重複 2)、・既存 42(うち重複 9)、計 55 事業、事業費 1,718,273 千円

事業名	担当課	決算額 (千円)	区分
施策1 公共施設・インフラの適正維持			
・公共施設マネジメント推進事業	公共施設マネジメント推進課	2,538	B
・公共施設適正管理推進事業	建築課	1,373	B
・市街灯管理	道路・河川管理課	162,454	A
・道路照明灯 LED 化推進	道路・河川管理課	46,181	A
・道路ストックマネジメント	道路・河川管理課	314	A
・橋梁の長寿命化	道路建設課	118,080	A
・下水道ストックマネジメント	下水道整備課、下水道施設課、(水再生センター)	371,491	A
・道路維持修繕	道路・河川管理課	511,069	A
・効率的なガス供給形態の構築及び維持	水道ガス整備課	681,950	B
・水需要の減少に対応した効率的な水運用	水道ガス整備課	295,711	B
☆学校施設の長寿命化改良事業	教育総務課	44,003	A
施策2 住み続けたいまちの再生			
・地域が主体となった景観形成事業	都市計画課	2,927	A
・駅前公園再整備事業	公園緑地課	9,281	-

・鉄道駅を中心とした交通ネットワークの確立と公共交通の維持・活性化事業	地域交通政策課	66,769	A
・公共交通確保維持・活性化事業(地域公共交通計画策定業務)	地域交通政策課	25,311	A
・大津市再生可能エネルギー等利活用方針の進捗管理	環境政策課	0	A
・地球温暖化対策の推進	環境政策課	7,000	A
・生涯スポーツの推進	スポーツ課	19,612	-
・環境保全活動の推進	環境政策課	8,335	A
・街路樹管理	道路・河川管理課	108,467	A
・人に優しい道づくりの推進	道路・河川管理課	0	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	企画調整課	0	A
・公共空間を活用した中心市街地活性化事業	都市魅力づくり推進課	10,314	B
・移住希望者に対する支援	企画調整課	30	A
・ふるさと納税推進事業	企画調整課	120,000	A
・空き町家の利活用推進支援事業	都市魅力づくり推進課	8,068	A
・公共施設マネジメント推進事業	公共施設マネジメント推進課	2,538	B
☆国際大会を契機としたスポーツ推進	スポーツ課	787	-
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業	広域事業課	0	A
・環境監視の推進	環境政策課	0	A
・ごみ出し支援戸別収集	廃棄物減量推進課	3,370	A
・屋外広告物景観推進事業	都市計画課	2,865	A
・公共交通確保維持・活性化事業(バリアフリー化事業)	地域交通政策課	13,961	C
・デマンドタクシーの実証運行	地域交通政策課	6,980	A
・公共交通確保維持・活性化事業(案内サインの充実・バスロケーションシステムの導入支援等)	地域交通政策課	179	A
・地域防災計画・水防計画の充実	危機・防災対策課	35,194	A
・防犯推進事業	自治協働課	11,875	A
・交通安全施設整備	道路・河川管理課	41,975	A
・消防団の機能強化	消防総務課	563	A
・情報通信基盤の整備	危機・防災対策課	15,284	A
☆交通安全推進事業	自治協働課	6,189	A
・災害復旧事業(単独)	道路・河川管理課	80,827	A
・各種がん検診の充実	健康推進課	262,725	B
・介護サービスの充実と提供体制の整備	事業所・施設整備室	218,886	B
・健康づくり事業の実施	健康推進課	292	B
・地域包括支援センター活動推進事業	長寿政策課	307,204	B
・健康おおつ21推進事業	保健総務課	94	B
・地域医療推進	保健総務課	6,399	B
・一般介護予防事業	長寿政策課	14,016	B
・生活支援事業	長寿政策課	32,019	B
・障害者移動支援事業	障害福祉課	201,106	A
・障害者働き・暮らし応援センター運営支援事業	障害福祉課	2,763	A
・社会的事業所等運営支援事業	障害福祉課	44,352	A
・おおつ学～おおつ学びのマルシェ事業～	生涯学習課	319	B
・まちづくり協議会の設立・運営支援事業	協働のまちづくり推進室	3,231	A
☆大津市デジタルイノベーション戦略の推進	イノベーション戦略室	0	A
☆AI チャットボットによる総合案内サービス	イノベーション戦略室	3,432	A
☆AI を活用したイベント情報集約サイト	イノベーション戦略室	2,376	A
☆専門的な行政用語などに対応した「自治体向け音声翻訳アプリ」の導入	イノベーション戦略室	369	B
☆Web 会議システム	イノベーション戦略室	4,535	A
☆大津市公式 LINE アカウントの活用	イノベーション戦略室	0	A
☆AI-OCR を用いた給与所得者異動届出書等のデータ化及び RPA 連携	イノベーション戦略室	1,501	B
☆AI を用いた音声認識による自動議事録作成	イノベーション戦略室	3,667	A
☆電子申請システム等の共同調達(スマート自治体滋賀モデル研究会)	イノベーション戦略室	286	A
☆オープンデータの推進	イノベーション戦略室	0	A
☆EBPM の推進	イノベーション戦略室	0	A

(重複事業18事業)

・妊婦健診費用助成事業	基本目標1の施策1と施策2	A
・少子化対策に向けた取組	基本目標1の施策2と施策4	A
・大津っ子みんなで育て“愛”全戸訪問事業	基本目標1の施策2と施策4	A
・防犯推進事業	基本目標1の施策4と基本目標4の施策2	A
・交通安全推進事業	基本目標1の施策4と基本目標4の施策2	A
・起業・創業促進新規出店支援事業	基本目標2の施策1と施策2	-
・企業立地活性化事業	基本目標2の施策2と施策3	A
・ふるさと納税推進事業	基本目標2の施策1と基本目標4の施策2	A
・移住希望者に対する支援	基本目標2の施策1と基本目標4の施策2	A
・空き町家の利活用推進支援事業	基本目標2の施策1と基本目標4の施策2	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業※	基本目標2の施策2と基本目標3の施策1と 基本目標4の施策2	A
・新名神高速道路の SIC 及び SA 利活用による地域活性化推進事業※	基本目標2の施策2と基本目標3の施策1と 基本目標4の施策2	A
・障害者働き・暮らし応援センター運営支援事業	基本目標2の施策3と基本目標4の施策2	A
・MICE推進事業	基本目標3の施策1と施策2	-
・歴史的観光資源活用補助事業	基本目標3の施策2と施策3	B
・国際大会を契機としたスポーツ推進	基本目標3の施策1と基本目標4の施策2	-
・まちづくり協議会の設立・運営支援事業	基本目標3の施策3と基本目標4の施策2	A
・公共施設マネジメント推進事業	基本目標4の施策1と施策2	B

※課が異なる同名2事業あり

9 交付金事業の実績

○地方創生推進交付金事業

令和2年度は、地方創生推進交付金事業として以下の2事業を実施しました。各事業の概要及び効果検証は、次のとおりです。

- ① 琵琶湖疏水通船復活を契機とした京都・大津広域観光促進事業
- ② 「戦国・琵琶湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト

①琵琶湖疏水通船復活を契機とした京都・大津広域観光促進事業

事業概要	<p>「琵琶湖疏水」については、大津市及び京都市をつなぐ文化資産であるものの、現役の水道施設であることや、行政境界をまたぐものであることから共同して活用を図っていくことができていなかったが、京都市が観光船を建造し、疏水通船事業の運営主体に貸与するなど、必要な支援を行うとともに、官民が連携したプロモーションを展開し、疏水通船及び疏水沿線への誘客を図る。</p> <p>また、京都市観光協会やびわ湖大津観光協会、商工会議所などと連携しながら疏水通船復活を契機として疏水沿線に点在する近代化遺産等の観光資源等への活用など疏水全体の観光施設と魅力向上を図るとともに、疏水通船だけでなく、両市を結ぶ鉄道や道路等の多様なルートでの観光振興を進めることにより、京都市に集中する観光需要を大津市に波及させる取組を行う。</p>
------	--

主な実施内容 ・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成、外国人観光客の受入環境整備促進等の着地型観光の受け入れ体制整備 ・継続的な事業の実現を担う人材育成等の運営支援 ・大津ならではの観光資源の磨き上げの実施 		
事業費	15,257 千円	交付金額	7,629 千円

評価指標 (KPI)	目標値 (R2 年度)	実績値 (R3 年 3 月末)
大津市観光消費額 (億円/年) (事業開始前 1,743 億円/年)	1,978 億円/年	1,050 億円/年
大津市総宿泊者数 (万人/年) (事業開始前 147 万人/年)	165 万人/年	73 万人/年
疏水通船年間乗船者数 (事業開始前 520 人/年)	9,000 人/年	6,397 人/年

R2 年度の 評価分析	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により運行を休止したことから、令和2年度の乗船者数が目標値に至らないなど、KPI の目標値を達成できない結果となったが、人材育成等の支援など、継続的な事業の実現に向けての取組を行った。</p>
----------------	--

②「戦国・琵琶湖」体験・体感ツーリズム深化プロジェクト

事業概要	令和2年（2020年）1月から放映予定の大河ドラマの主人公が「明智光秀」に決定し、西教寺をはじめ、光秀ゆかりの地が多数ある本市としても、関係者で構成された協議会の運営により、大河ドラマファンの受入態勢を整備し、観光振興を図る。
------	---

主な実施内容 ・成果	<p>①びわ湖大津 光秀大博覧会 メイン拠点の設置 西教寺内の禅明坊光秀館をはじめ、市内4箇所に光秀に関する展示を設置</p> <p>②その他、受入整備 JR 駅前の臨時案内所の設置、坂本城本丸跡地の特別開放、路線バス増便</p> <p>③商品開発・周遊促進 市内事業者と連携し、光秀や戦国に関する商品開発、周遊ルート設定、マップ作成</p> <p>④情報発信 大博覧会の特設 Web サイト、ポスター、パンフ、チラシ、のぼりなどのツール作成、各種媒体での広告</p> <p>⑤広域連携 滋賀県「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」との連携、岐阜滋賀京都共同 HP の開設、LINE AI 明智光秀への参画</p>		
事業費	16,205 千円	交付金額	7,875 千円

評価指標 (KPI)	目標値 (R2 年度)	実績値 (R3 年3月末)
県内の戦国にまつわる観光施設の 観光入込客数 (万人/年)	175 万人/年	93 万人/年
県内の観光消費額 (億円/年)	1,911 億円/年	1,328 億円/年
県内の延べ宿泊者数 (万人/年)	425 万人/年	248 万人/年

R2 年度の 評価分析	<p>新型コロナウイルス感染の影響で、禅明坊光秀館をはじめとする会場の休館やイベント中止が相次いだ。</p> <p>そのため、感染防止対策を行いつつ博覧会を運営したものの、団体旅行を中心に想定を大きく下回る入込客数となった。</p> <p>一方で、大河ドラマというチャンスを生かし、官民が連携して準備を進めるとともに、滋賀県や県外自治体と広域連携し、情報発信を行うことができた。</p>
----------------	---